

～ 木質ペレット普及促進に向けた研修会～

◆日時：2017年10月12日（木）～13日（金）

◆場所：高山市民文化会館 2階 2-5会議室 13：10 開場
〒506-0053 岐阜県高山市昭和町 1-188-1

◆研修会内容：

【1日目】 12日（木） 13：30 ～ 研修会

・ 13：30～13：35 開会挨拶 岡本会長

・ 13：40～14：20 自然エネルギーによるまちづくり

高山市役所 環境政策部 部長 浦谷 公平 様

・ 14：25～15：05 木質ペレットを用いた小型ガス化熱電併給システム

三洋貿易株式会社 機械・環境事業部バイオマスグループ 都留 貴資 様

《15分休憩》

・ 15：20～16：00 需要拡大部会の取組みについて

部会副部長 二光エンジニアリング株式会社 小久保 公由 様

《質疑応答》

・ 16：30 閉会挨拶 山本副会長

・ 17：30 ～ 懇親会 高山市民文化会館 1階「オープンハート・カフェ」

【2日目】 13日（金） 9：00 ～ 現地視察

1. 木質燃料株式会社様のペレット工場

2. 飛騨高山グリーンヒート合同会社様のバイオマス発電所 14：30に高山駅解散

◆参加者：27名

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～ 【1日目】 12日（木）研修会 ～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

◎岡本会長 開会の挨拶

自然エネルギーを実践している高山市の取組と、木質ペレットを燃料としてのバイオマス発電の現状を視察することにより、木質ペレット普及と燃焼（発電）機器の需要拡大を目指し、参加者された皆様に大きな収穫となることを期待する。

〔高山市の概要〕

面積：2,177.61 平方 km

※日本一大きな市（東京都に匹敵する面積）

森林率：92.1 %

人口：89,328 人

—高山市公式ホームページより—



『自然エネルギーによるまちづくり』

高山市役所環境政策部 部長 浦谷 公平 様



豊かな森林資源を活用し、特色のある取り組みを行政・市民が一体となって推進している。

Q 自然エネルギーの推進はどこから出てきたのか？

A 行政（市長）が呼び掛けてスタートした。

Q 補助金の費用対効果についての確認は？

A まだ、検証する状況には至っていない。

※高山市の自然エネルギーに対する積極的な取り組みは、素晴らしいとの参加者の感想!!

『木質ペレットを用いた小型ガス化熱電併給システム』

三洋貿易株式会社 機械・環境事業部バイオマスグループ 都留 貴資 様

木質ペレットは地球の環境維持に適した燃料であり、小型ガス化熱電併給システムと一体化した具体的な事例をもって説明があり、今後のペレット及び燃焼機器（発電機器）の発展が望まれる内容であった。



Q システムの緊急的な対応はどうなるのか？

A メンテナンスの仕組みは万全を期している。

Q 稼働率の状況はどうか？

A 既に実施している B 施設では、諸般（ペレットの保管環境等）の事情で 60%程度の時もある、ペレットの状態により大きく左右されることが分かっている。

Q ガス化熱電併給システムが利益を出すためのペレットの価格は、おおよそいくらぐらいか？

A 30 円/kg 位が望ましい、35 円/kg になると熱の販売が必要になる。

Q システムの規模の大小により施設運用にかかわる資格は必要か？

A 電気主任技術者の委託は必要になる。

『需要拡大部会の取組みについて』

部会副部長 二光エンジニアリング株式会社 小久保 公由 様



29 年度の協会の取組として、3 部会の活動を強化する。需要拡大部会として、以下の取組を推進している。

①市場調査

・ペレット製造業者へアンケートを実施し現状を把握。

②普及啓蒙活動

・展示会・説明会・研修会の効果的な活用。

③事業採算性の改善指導

・アンケート調査による問題点を集約し改善策を検討。

④優良木質ペレットの優位性向上への政策展開

⑤コンサルティングの実施 他

◎山本副会長 閉会の挨拶



木質ペレットの品質規格の制定及び品質認証の普及を行い、省エネに大きく貢献する木質ペレットの需要拡大を図ることで、地域経済の発展と持続可能な資源循環型社会の実現に向け、皆様のご理解協力をお願いしたい。

◎最後の懇親会では、高山名物の飛騨牛に舌鼓を打ちながら、参加者の和やかな歓談で一日目を終了した。



～．～．～．～．～．～．～．～．～ 【2日目】13日（金）現地視察 ～．～．～．～．～．～．～．～．～

◎木質燃料株式会社 専務取締役 清水 裕登 様

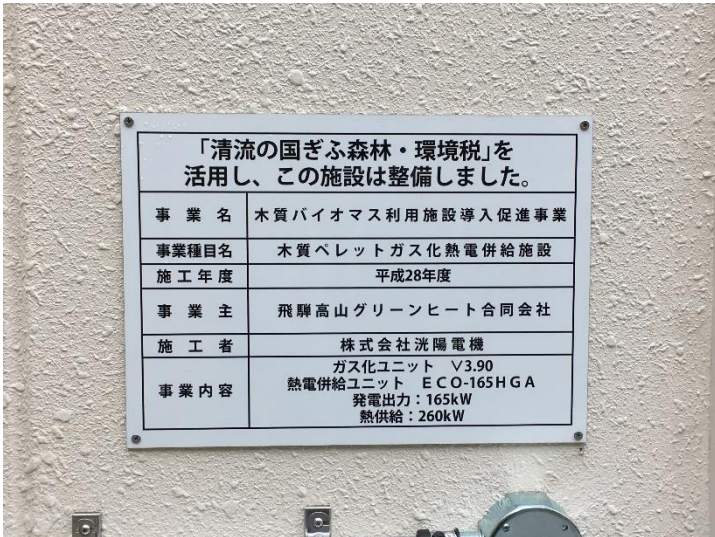


高山市内で創業 100 年の銭湯を経営され、燃料として親しんだ木を使い間伐材のペレット事業を平成 20 年に起業されました。その後、飛騨製の箸製造の事業も起こし高山の豊富な森林資源活用に対し意欲的に取り組み、化石燃料に依存しないバイオマスエネルギーの生産と供給拡大を積極的に推進されておられます。



◎飛騨高山グリーンヒート合同会社

高山市の「新エネルギービジョン」の政策に、官民一体となり、豊富な森林資源を活用する自然エネルギーの導入事例として起業され、化石燃料からバイオマスへの転換促進へ先頭を切って取り組んでおり、また、市民などへの自然エネルギー活用の認知や普及拡大など、エネルギーの地産地消を積極的に実践されておられます。



現地視察は参加された皆様が、それぞれ地元で待ちかえっての展開に思いが及び、積極的に質問をされておられました。百聞は一見に如かず！！